

第29回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨（案）

開催日時 令和4年2月22日（火）14:00～16:00

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 G

<議事等>

1. 安全性関係議題について

- 1-1 これまでの経緯
- 1-2 第28回委員会における主な指摘事項と対応
- 1-3 令和3年度合同現地診断結果について
- 1-4 交通安全対策
- 1-5 事故危険区間（エリア）の対策検討
- 1-6 今後のスケジュール



<主な意見>

安全性関係議題について

1-1 これまでの経緯

○特に意見なし。

1-2 第28回委員会における主な指摘事項と対応

○特に意見なし。

1-3 令和3年度合同現地診断結果について

委員 ○全体的に対処療法的な対策が多いが、根本的な要因の解決に向けた対応も必要だと考えている。例えば、横断歩道付近で追突事故が多く発生している箇所において、路面標示による「横断者注意」等の対策が検討されているが、カーブで横断歩道が見えづらい、といったことは無いのか。また、横断歩道の必要性、位置といった視点でも検討したほうがよいのではないかと。

事務局 ○夜間における横断歩道の視認性確保のため、道路照明灯の設置等を検討した。横断歩道の必要性については確認する。

1-4 交通安全対策検討

<学園東大通り入口交差点について（国管理区間）>

委員長 ○沿道施設への出入りに起因する事故については、沿道との合意形成が必要であるが、右折の出入りを制限するという案も考えられる。

○追突事故については、渋滞が要因になっているとも考えられる。例えばバイパスが完成するまでの期間限定で右折出入を制限する案も考えられる。

事務局 ○検討したい。

<土浦市 都和小前歩道橋交差点について（県管理区間）>

委員長 ○右折事故の対策として交差点内の右折指導線の設置が検討されているが、これとあわせて右折指導線内をカラー化する対策も考えられる。

事務局 ○検討したい。

＜土浦市 摩利山新田（交差点）（県管理区間）＞

委員 ○下り線流入部の停止線が交差点中心から離れているように見える。何らかの理由があるのかもしれないが、停止線を前出しするなどの改善ができれば良いと考える。

事務局 ○停止線が下がっているように思われる。交差点の計画を行う際はコンパクトになるように設計しているが、交差点設計時の経緯を確認する。

委員長 ○追突事故への対策案として路面標示「追突注意」が提案されているが、路面標示上に車両が停車すると視認できない場合もある。より視認しやすいように看板を設置する案も考えられる。

事務局 ○検討したい。

1-5 事故危険区間（エリア）の対策検討

○特に意見なし。

1-6 今後のスケジュール

○特に意見なし。

その他指摘事項

委員長 ○これまで安全性委員会では道路側の対策を中心に議論してきたが、交通事故削減のためにはマナーの向上も必要不可欠である。当委員会において、マナーに関する議論を行っても良いのではないか。

委員 ○自転車に関する委員会でも同様の議論があり、マナーの向上に苦慮している。関係者からマナーに関するメッセージを出すのは良いと考える。

委員 ○高齢者の運転免許返納が進み自転車を利用する高齢者が増えているが、車道が狭いこともあり危険を感じる。ドライバーのマナー向上も必要である。

委員 ○予算上の制約もある中で、現状の道路構造や条件等で工夫していく必要がある。その上で交通取締りの強化や交通マナーの向上といった視点での対応も必要と考えている。関係者が知恵を出し合って解決していきたい。

委員長 ○今後の委員会において、3点お願いしたい。1点目は、事故危険区間（エリア）として検討を進めているヨークタウン周辺について、移動性の観点からの議論が必要である。2点目は、事故ゼロプランの中でも初期に選ばれた箇所のうち、事故が残存している箇所について、集中的に議論をすべきと考えている。3点目は、ETC2.0を活用した事故多発交差点などの情報発信による注意喚起について、検討・議論したいと考えている。

以上